

ピースボート福島子どもプロジェクト 「夏休みアジアクルーズ2011」報告書

- 実施期間 2011年7月23日(土)～8月4日(木) 13日間
- 参加生徒 福島県南相馬市内の中学生49名
- 訪問国 ベトナム(ダナン)、シンガポール、スリランカ(コロンボ)

国際交流 NGO ピースボート
一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター
「福島子どもプロジェクト」

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1

TEL : 03-3363-7561 / 03-3363-7967

FAX : 03-3363-7562

- 概要 : <http://www.peaceboat.org/info/news/2011/110713.shtml>
- 公式ブログ : <http://ameblo.jp/pbfukushimayouth/>

目次

プロジェクトの趣旨、概要	3
旅の様子	4
旅程	5
毎日の詳細	6

■プロジェクトの趣旨「福島の子どもたちに“夢と健康”を」

- 福島の子どもたちに、夏休みの短期間だけでも放射能の及ばない安全なところに避難してもらい、ご両親の不安と負担を少しでも軽減する。
- 子どもたちに広い大海原に行く船旅をのびのび楽しんでもらいながら、世界各地の多様な社会や文化、そして、実践的な英会話なども学ぶ機会を提供する。
- 福島の現状と子どもたちの生の声を世界に届け、同時に海外からの支援に対する感謝の気持ちも届ける。
- 貴重な海外体験と多くの人々との出会いを体験した子どもたちに、福島へ、南相馬へ元気をもち帰ってもらう。

■「夏休みアジアクルーズ2011」の概要

第74回ピースボート・地球一周の船旅（2011年7月19日（火）～10月27日（木）、横浜発着101日間。使用客船オセアニック号。旅行企画・実施（株）ジャパングレイス）のうち、ベトナム・ダナン～スリランカ・コロンボ区間（7月25日（月）～8月2日（火））に参加し、船内および寄港地において世界各地の多様な社会や文化に触れる。

参加生徒 福島県南相馬市在住の中中学生49名

内訳 【男女別】 男子28名、女子21名

【中学校別】

鹿島中学校 : 10名

小高中学校 : 6名

石神中学校 : 10名

原町第一中学校 : 10名

原町第二中学校 : 7名

原町第三中学校 : 6名

【学年別】 1年生 : 18名 / 2年生 : 15名 / 3年生 : 16名

引率者 安原はづき、片岡和志（ピースボート）

内田雅人（南相馬市立真野小学校PTA会長）

ピースボート福島子どもプロジェクト「夏休みアジアクルーズ2011」は、NGOピースボートと、東日本大震災への被災者支援・復興支援活動を行う一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター（PBV）（<http://www.pbv.or.jp/>）が共同で実施、南相馬「こどものつばさ」プロジェクト（<http://kodomonotsubasa.com/>）の一環として、参加者の募集は同プロジェクトを通じて行われました。

■福島子どもプロジェクト呼びかけ人

鎌田實（医師・作家、呼びかけ人代表）

田部井淳子（登山家）、田中優（環境活動家）、香山リカ（精神科医）

■旅の様子

2011年7月23日（土）から8月4日（木）までの13日間、南相馬市の中学生49名（男28名、女21名）が第74回ピースボート地球一周の船旅のダナン（ベトナム）からコロンボ（スリランカ）の区間に参加しました。

中学生は、南相馬市内の6つの中学校（原町第一中学校、原町第二中学校、原町第三中学校、石神中学校、小高中学校、鹿島中学校）の1，2，3年生。震災と原発事故の影響で現在は6校の生徒が鹿島中学校に通っています。この夏、震災後に発足した南相馬のNPO「南相馬こどものつばさ」に全国から寄せられた夏休みのプログラムのなかからピースボートの旅に応募したメンバーですが同じ校舎で学ぶ同士であっても、学校別での授業が行われており、また学年も違うため、初めて生活を共にする生徒がほとんどでした。

飛行機に乗るのも、海外旅行も初めてという生徒が多く、未知の体験に向けて不安と緊張でいっぱいでの成田出発。ベトナムやシンガポールの暑さや食事の違いにびっくりし、現地の人々との交流に少しとまどいながらも、それぞれのペースで一つ一つの出会いを紡いでいきました。

800人以上の参加者と一緒にごくしたピースボートに乗船しての洋上8日間は、音楽ライブやネイティブの先生たちから英語やスペイン語を習ったり、インターナショナルナイトでダンスを習ったり、老若男女みんなが一生懸命の洋上大運動会など盛りだくさんの企画に参加。念願のプールや、サッカー、バスケも夕方暗くなるまで思いっきり楽しみ、旅の初めに比べるとみんなの笑顔がずいぶんと増えました。洋上生活も後半に入ると、みんなでカラオケ大会をやりたい、募金活動を始めたい、など少しずつ自主的な動きもでてきました。

もうすぐ船を降りなければならない、と気づき始めたころからは、「大きくなったらまた絶対ピースボートに乗る！」という声があちこちで聞こえてきました。「ありがとう！」と一斉に声を合わせて涙しながら船を見送ったコロンボの港。たくさんの出会いと、体験とそれぞれの思いをもって、彼ら、彼女らはこの夏の旅を終えました。



■旅程

日		宿泊
7/23 (土)	南相馬出発・成田にて集合	成田泊
7/24 (日)	ベトナム・ダナンへ出発（ホーチミン経由）	ダナン泊
7/25 (月)	ダナンツアー	ダナン泊
7/26 (火)	ダナンツアー、ピースボート（オセアニック号）に合流	船内泊
7/27 (水)	クルーズ	船内泊
7/28 (木)	クルーズ	船内泊
7/29 (金)	シンガポール寄港 ツアー	船内泊
7/30 (土)	クルーズ	船内泊
7/31 (日)	クルーズ	船内泊
8/1 (月)	クルーズ	船内泊
8/2 (火)	クルーズ、スリランカ・コロンボにて下船	コロンボ泊
8/3 (水)	コロンボ ツアー、成田へ出発（直行）	機内泊
8/4 (木)	成田空港着、記者会見、南相馬へ帰宅	

■毎日の詳細

7月23日（土）

南相馬をバスにて出発。成田に集合し、宿泊。

7月24日（日）

成田空港にて出発式、写真撮影

空港ターミナルにて班分け（男女別で各4班、それぞれ5～7名）

フライト：VN 951 成田 - ホーチミン / VN 1322

ホーチミン - ダナン

ダナン市内のホテルにて宿泊。



7月25日（月）

ホーチミン博物館見学：ベトナムの歴史を説明する写真、建物などを見学

枯れ葉剤被害者の施設訪問：施設長のお話、歌、ダンス、昼食など

ハン市場訪問：買い物・自由時間

さくら日本語学校にて交流：ベトナムクイズ、ベトナム語、歌、竹ダンス等の練習

ベトナム青年連盟の学生たちとの交流：キャンプファイアー、ダンスなど

ベトナム青年連盟施設宿泊



7月26日（火）

市内観光：さくら日本語学校の学生たちとグループ（3対3など）になり、グループごとにダナン市内を散策。

大交流会：ベトナム青年連盟、ピースボートから合流した参加者200人と一緒に、ダンスなどで交流。広島の被爆者、中村紘さんのお話も聞く。

ピースボート・オセアニック号に合流。

乗船手続き、避難訓練、船内オリエンテーションを行う。

7月27日（水）

8:15～9:00 朝のホームルーム

- ユースパートナー※の紹介
- 運動会実行委員長からの挨拶と組分け
- 今日の企画：運動会各組の練習、プール開き、アニメーション監督・宇井孝司さん講座

※ピースボートの参加者の中から、南相馬ユースのお兄さん、お姉さんのような役割で、船内企画と一緒に参加したり、手助けをしてくれる役割。計6人がパートナーとして関わってくれた。

9:00～ユースパートナーによる船内見学ツアー（6グループに分かれて）

11:00～12:00 運動会各組の団長と顔合わせ、チーム練習

13:30～14:00 ピースボートセンターで午後の予定を報告

19:30～20:30 夜のホームルーム

- アイスブレイクゲーム
- 船内オリエンテーション続き（船内生活の注意点と安全面について）
- カリンバ奏者BUNさんからのライブ出演のお誘いと拍手を使ったリズムワーク
- 時差説明：寝る前に時計を1時間すすめる。
- 日記用紙配布（ベトナム滞在から乗船まで分）



7月28日（木）

8:15～9:00 朝のホームルーム

- 朝GET※
- 今日の企画：運動会練習、南中ソーラン
- ※GET＝グローバルイングリッシュ・スペイン語トレーニング

10:00～10:30 海賊対策避難訓練：「ブラボータンゴ」の放送で部屋待機をする。

10:30～11:30 運動会各組練習

13:30～14:00 ピースボートセンターで午後の予定を報告

14:00～15:00 GETクラス：英語の数字とゲーム遊び（必修）

19:30～20:30 夜のホームルーム

- シンガポール入港、ツアー、持ち物などの説明



- シンガポール入国書類記入
- 日記回収・用紙配布

20:30～22:00 BUNさんによるカリンライブ：最後の曲に拍手リズムで参加

7月29日（金） シンガポール寄港

10:00 オセアニック号出発、入国管理、港のターミナルで両替、バスにてツアーへ

- リバータクシークルーズ（ボートにて）



- マーライオンパーク：写真撮影と自由時間・買い物

昼食：シンガポールチキンライス

- セントーサ島テーマパーク体験（バタフライパーク、4Dマジックシアター、スカイリージュ、イメージ・オブ・シンガポール）

19:00 ケーブルカーにて港へ移動、オセアニック号帰着

7月30日（土）

8:15～9:00 朝のホームルーム

- 朝GET
- 募金呼びかけ
- 今日の企画：ユースパートナー企画（ミサンガづくり、ゲーム）、インターナショナルナイト、広島の被爆者・中村紘さんによる講座「広島と福島」
- 洋上テレビチームの紹介・1日密着取材

9:00～10:00 ユースパートナーとミサンガづくり

11:30～12:10 ユースパートナーとゲーム

13:30～14:00 ピースポートセンターで午後の予定を報告

16:00～17:00 写真家・豊田直己さんによる写真講座（必修）

19:00～ ホームルーム遅刻組による新聞配り

19:30～20:30 夜のホームルーム

- 中間振り返りのワーク：ペアでこの旅で一番楽しかったこと、帰国までにやり遂げたいことについて話す。
- シンガポールの絵ハガキ配布
- 日記用紙配布
- 時差発生：寝る前に時計を1時間戻す

20:30～21:30 インターナショナルナイト：国際部のスタッフ、通訳チーム、GETの先生主催に



よる世界中のダンス、音楽、ゲームを体験する企画。

7月31日（日）

8:15～9:00 朝のホームルーム

- 朝GET
- 操舵室ツアーについて
- 今日の企画：運動会前夜祭、よさこいソーラン練習
- カラオケプロジェクト呼びかけ

9:30 および 10:30 操舵室ツアー、船長と記念撮影（制服着用）

13:30～14:00 ピースボートセンターで午後の予定を報告

15:00～16:00 フルーツパーティー招待：南国のフルーツ（マンゴスチン、ランブータン、ドリアン、スターフルーツなど）をいただく。

16:00～17:00 GETクラス：英語で表現する・ミニ演劇体験（必修）

19:30～20:30 夜のホームルーム

- 広島の被爆者・中村紘さんからの体験談とお話



- グループディスカッション：争いをなくすにはどうすればよいか

（生徒から出た意見：自己中心的な考え方をなくす、人の長所をみるようにする、武力をもたないようにする、話し合いをもつ、相手の気持ちを考える、など）

- 日記用紙配布
- 時差発生：寝る前に時計を1時間戻す

8月1日（月）

8:15～9:00 朝のホームルーム

- 朝GET
- 下船にむけた部屋の片づけ、荷物準備の呼びかけ
- 募金手伝い募集
- 運動会の注意事項

9:15～16:30 洋上大運動会（終了時に募金開始）

19:00～20:00 カラオケプロジェクト

20:30～22:00 運動会打ち上げ

- 時差発生：寝る前に時計を30分戻す



8月2日（火）

8:15～9:00 朝のホームルーム

- 朝GET
- 下船手続きの説明
- スリランカでの日程説明
- お別れ会で感想を言う人募集

10:30 下船手続きと荷物の移動

12:15～13:00 南相馬ユースお別れ会：歌、踊り、スライドショー、ユースパートナーからのメッセージ、南相馬ユースからの挨拶

14:00 オセアニック号下船、コロomboホテルに移動

16:00 コロンボの寺院にてセレモニーに参加

18:00 ピースボート見送り（コロンボ港）

19:00 ホテルにて夕食



8月3日（水）

10:00 スリランカ大統領・大統領夫人との面会（約1時間半）

ホテルにて昼食

スリランカ津波被害者の若者との交流会：挨拶、アイスブレイキングゲーム、スリランカの若者からの体験談、アフタヌーンティー（約3時間）

動物園見学

19:00 ホテルにて夕食、チェックアウト



01:30 フライトUL 460にて成田へ出発（遅延のため2時間遅れ）

8月4日（木）

14:00 成田空港到着

15:00 ホテルにて記者会見と昼食

16:00 南相馬へ向けて出発

22:00 南相馬市鹿島中学校到着／解散



以上

報告書作成（P4-11）：安原はづき